

フォトニュース

見頃を迎えたあじさいを満喫しませんか



大野山山頂では、梅雨の雨を受け、鮮やかにあじさいが咲き誇っています。15,000株のあじさいに加え、昨年から白いあじさい300株も植樹されています。7月下旬頃まで見ごろですので、ひときわ華やかに咲き誇るあじさいをぜひ満喫ください。



ほたるについて学ぼう！

6月13日、ふるさと館で「ほたるの夕べ」が開催され、ほたるの学習会とミニコンサートが行われました。

ほたるの学習会では、親子連れなど約90人が参加し、猪名川町子どもいきいきクラブの橋口さんを講師に、クイズなども交えて楽しく分かりやすい説明で、子ども達は楽しくほたるの生態などを学びました。



7月10日、雨が降る中、楊津小学校3年生が大野山頂で「森林の働きについて学ぶ」をテーマに、環境体験学習を行いました。

3年生13人の児童は、ゲストティーチャーの渡邊先生と一緒に大野山を歩き、樹木や草花を観察したり、植物の名前や特徴を調べました。

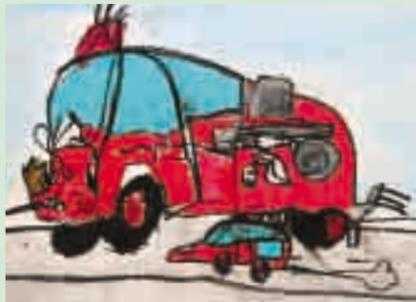
たまねぎがたくさんほれたよ！とってもうれしかったよ！
西浦 悠馬さん(年長)



ようちえんのはたけでこんなにおおきな、じゃがいもほれたよ！
召田 佳鈴さん(年長)



つつじが丘幼稚園



ぼくのかいたしょうぼうじどうしゃ、かっこいいでしょ！！
先田 栄一さん(年長)

あめがふったら、ほんとうにこのかさをつけてみたいな。
福本 璃乃さん(年長)



いながわ 歴史ウォーク ⑦

享保の六地藏 積尊の入滅後、彌勒仏がこの世に出現するまでの間、六道の衆生(一切の生物)を教化・救済するのが地藏菩薩だといわれます。六道とは仏教の世界観で、衆生の輪廻する6種の世界をいい、地獄道・餓鬼道・畜生道・阿修羅道・人間道・天道道があります。地藏信仰は平安時代から盛んとなり、六地藏信仰は平安貴族 小野篁が始めたと伝わっています。参議篁として小倉百人一首にも入れられている彼は、小野妹子の



六地藏第五所(天乳寺)

耳孫で、能書家小野道風の祖父です。小野小町の祖父説や、地獄との往還伝説もあります。京の都で始まった六地藏巡拝は、各地に伝えられました。さて、天乳寺住職 下條一弘さんが町内を調査研究され「今も猪名川町で大切に祀られる『享保の六地藏』をこのたび発行されました。6か村10km余の巡拝路は半日でもわれ、往時「地蔵の十福」を願って人々が行き交い、現在もそれぞれに地藏盆などが行われています。

オリジナルの一貫張り作り



葉っぱのにおいをかいだよ！

